

研究名： Perineal canal の治療法に関する検証

1．研究の目的

標準治療として確立したものが無い Perineal canal の治療について、当院の治療経験を諸家の報告と照らし合わせる事によって再検証し、より適切な治療戦略の構築を目指します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2002 年 3 月～2021 年 11 月までに当院で Perineal canal に対する治療を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 12 月

研究方法：上記期間中に研究の対象となる患者さんについて、診療録から下記 3 に記載するようなデータを抽出して、後方視的に検討します。

3．研究に用いる情報の種類

診療録から基礎疾患、診断の時期、発症時期の感染徴候、保存的治療の戦略、自然軽快の有無、手術時期、手術方法、入院期間、手術時間、人工肛門造設の有無、再発・再手術の有無などを抽出し、集計します。

患者さんの氏名やカルテ番号、生年月日などの個人を特定しうる一切の個人情報はデータを抽出する際に診療録を参照するために用いますが、調査の対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

研究対象者の個人を特定できる情報は使用しません。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 外科 狩野 元宏
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7945）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 外科 狩野 元宏